

### □ ■ 島根県企業 4 社が参加！

### ヘルスケア・環境関連ビジネスマッチングイベントレポート ■ □



こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのバンブーです。

島根県しまねブランド推進課海外展開支援室は、MOU を締結しているタイ国立キングモンクット工科大学 KX センターと連携し、島根県企業のタイ市場への展開を目的に、2024 年 11 月 13 日にバンコク市内でヘルスケアと環境をテーマにしたビジネスマッチングイベントを実施しました。

島根県は、2021 年 11 月に島根県内企業のタイ・ASEAN 市場獲得を目指し、タイ国立キングモンクット工科大学 KX センターと連携協定を結び、ビジネスマッチングプロジェクトを開始しました。

タイ国立キングモンクット工科大学は、「タイの科学の父」と仰がれるラーマ 4 世(モンクット王)の名を冠し、1960 年に創立されたタイトップクラスの工科大学です。学生数は約 1 万 4400 人で、特に IT、生命工学、環境分野に強いです。その大学付属機関である KX (Knowledge Xchange) センターは産学官連携の支援機関であり、ビジネスマッチングや共同研究、資金支援、人材育成をワンストップで行っています。

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.122

4回目の実施となる今年は、現在のタイで大きな課題となっている高齢化や、国の成長に伴う健康問題の増加を背景にヘルスケアと、昨年度に引き続き、タイ政府が産業高度化を目指し、「バイオ・循環型・グリーン（BCG）経済モデル」を打ち出し、これを国の主要経済基盤にするという政策を掲げていることから、環境関連分野をテーマに据えて実施がされました。

### 【参加した島根県企業】

企業名	出展製品
C.C. KENDENSHA Co., Ltd.	中性無機系凝集剤 TENSEY
株式会社ERISA	脳画像解析 認知症リスク検査 Support Brain
株式会社イーグリッド	入力業務、資料作成自動化生成AI Document Force
日本ミクニヤ株式会社	有機性廃棄物減容化装置 MISHIMAX

イベント前の9月には、KXセンタースタッフと島根県担当者が県内参加企業にマッチング先や展開を希望する製品の詳細についてヒアリングしました。そのヒアリング内容を元に、KXセンターで協業の可能性のあるタイ企業に声をかけ、島根県企業の製品を紹介しました。その結果、多くのタイ企業がビジネスマッチングイベントに参加し、イベント当日には複数の商談が実施され、参加した県内企業にタイ市場を理解していただく機会となりました。

### 【イベントのハイライト】

1. **各社のプレゼンテーション**：島根県からは上記の4社が参加し、バンコクのKXセンターにて企業の概要および製品のプレゼンテーションをいただきました。



2. **展示ブース**：イベント会場には製品を紹介する展示ブースが設けられ、参加した島根県企業の皆様はブースを訪れたタイ企業関係者と情報交換や、商談を行いました。タイ企業と直接お話をいただくことで、製品

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.122

の紹介だけでなく、タイ市場についての情報交換をしていただく機会となりました。県内企業4社のブースに加え、島根県ブースも設けられ、県内の観光地についての案内も行われました。



株式会社ERISAのブース



日本ミクニヤ株式会社のブース



株式会社イーグリッドのブース



C.C. KENDENSHA Co., Ltd.のブース

**3. マッチングセッション：**事前ヒアリング情報を元にイベント前に設定した商談は、会場の一角で行われました。島根県企業とタイ企業は、お互いに情報交換したり、ビジネスの機会を模索するなど、活発な協議が行われました。



## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.122

---

当日のイベント会場にはタイ企業関係者約85名が来場し、オンラインでは158人が参加しました。多数のタイ企業が島根県企業の製品に関心を持ち、イベント中に15組の商談を実施、イベント後もオンラインにて協業の可能性を協議しています。

### 【バンコクの視察ツアー】

イベントの翌日には、ヘルスケアチーム（ERISA、イーグリッド）、環境チーム（日本ミクニヤ）に分かれ、それぞれのニーズに沿った、バンコク都内の視察ツアーに出かけました。

### 【ヘルスケアチーム】

ヘルスケアチームは午前午後企業と病院1箇所ずつ訪問し、それぞれが企業・製品紹介をするともに、将来的な協業の可能性について協議がしました。

#### 午前：Touch Technologies社

ヘルスケアチームは午前中、タイ国内でデジタルヘルスケア技術サービスを提供している民間企業「Touch Technologies」へ訪問しました。同社は国内の政府や民間企業とのつながりを持っており、国内の病院など医療機関と連携し、健康診断サービスなどを提供しています。



#### 午後：サミティバート病院スクンビット

午後はタイの大手私立病院であるサミティバート病院を訪問し、院内の視察と県内企業の提供サービスのプレゼンを行い、意見交換を実施しました。

このサミティバート病院には、専門医による高度な診療科目が揃っており、特に母子医療、整形外科、心臓病などが評価されている国内トップクラスの病院です。医療ツーリズムにも力を入れており、英語・日本語を話せるスタッフが多数在籍しています。



### **【環境チーム】**

環境チームの日本ミクニヤもキングモンクット工科大学や環境関連企業を訪問し、共同研究の可能性や協業の可能性について議論が行われました。

#### **午前：キングモンクット工科大学「Energy Environment Safety and Healthy」**

この施設は、記事冒頭で紹介したキングモンクット工科大学の傘下機関で、大学内のエネルギー、環境、安全、健康の管理システムを統括し、大学全体で統一された規則の実施や専門家との調整を行います。施設内の見学とともに、タイにおける環境関連の施策やトレンド、共同研究の可能性などを協議しました。



#### **午後：Bangkok Rooftop Farming社**

Bangkok Rooftop Farming社は、バンコク都市部のビルの屋上での農業を推進する革新的な企業で、都市の緑地を増やし、持続可能な食糧生産を目指しています。個人や企業、団体向けに屋上農園の設置や管理サービスを提供しており、特に有機農法や持続可能な方法を重視しています。

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.122

---

視察では、都市農業の実際の運用を見学し、同社が提供する農業技術、灌漑システム、堆肥化プロセス、都市空間への農業の統合などの紹介を受けました。



### 【最後に】

KXセンターの支援により、参加いただいた島根県企業にとって、タイ市場に関する情報交換や、将来的な協業の可能性のあるタイ企業とのマッチングなど、意義のあるプロジェクトとなりました。

マッチングイベントでの協議で終了ではなく、帰国後も県の支援で、タイでの展開、タイ企業との連携を目指しオンラインでの協議を継続しています。

今回のヘルスケア・環境関連ビジネスマッチングイベントを通じて、島根県企業の皆様がタイ市場における新たな可能性を発見し、多くのタイ企業との有意義なつながりを築けたことを大変嬉しく思います。この成果を起点として、今後さらに具体的な協業や市場展開に向けた取り組みが進むことを期待しています。

□ ■ 工作機械・機械加工・製造技術総合展示会「METALEX 2024」 ■ □



こんにちは。島根・ビジネスサポートオフィス、一迫です。

タイにおいてアセアン最大の工作機械、金属・非金属加工技術関係の展示会「METALEX 2024」が 11 月 20 日～23 日に BITEC 展示場で開催されました。本イベントは年 1 度この時期に開催されております。

タイは「東洋のデトロイト」と例えられるほど自動車産業が活発で、これまでは日系メーカーが 90%以上の市場占有率を誇っていました。完成車生産台数も、アセアン 1 位、世界ランクも常に 10 位前後となっております。また、ハードディスク製造は世界 1 位、エアコン製造が世界 2 位と、多くの製造業の分野の製造において、タイは量産工場が展開されております。

昨今中国の BEV（バッテリーEV）企業の急速なタイ展開は、タイ政府の強い国策と地政学要因をもってして強く進められております。さらに自動車関連のみならず全分野の、そして先端技術製造工場の誘致を強く推し進めており、アジアにおいて、中国に次ぐ量産拠点の一国となっております。従い製造に関するのインフラは広く発展しており、設備（工作機械等）・ツール、FA（工場自動化・省力化）関連、検査設備関連全体

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.122

のビジネスが活発で、それに関する展示会等も多く開催されております。その最大級イベントが「METALEX」です。

展示会名：METALEX 2024

<https://www.metalex.co.th/>

会場：Bangkok International Trade & Exhibition Centre (BITEC)

使用面積：41,000 m<sup>2</sup>

ブース数：742ブース（主催者ウェブより）

「METALEX」は、アセアン最大であり、先進国各国の技術が紹介され、ビジネスマッチングが展開されています。日本の「日本国際工作機械見本市（JIMTOF）」のアセアン版というところでしょう。入場者も、日本における「JIMTOF」にもひけをとりません。出展社数は「JIMTOF」が大きく上回っています。ちょっと比較してみました。

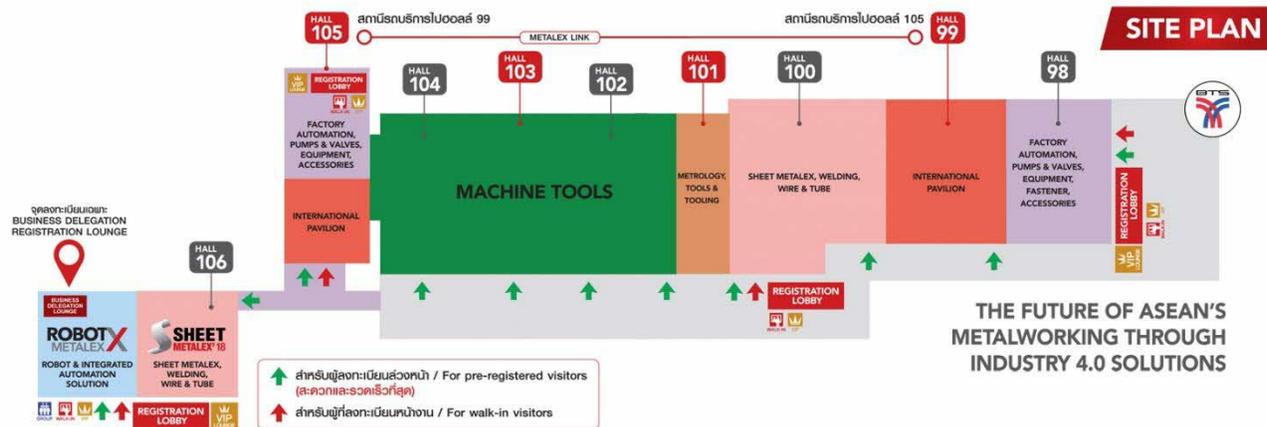
入場者数（いずれも主催者発表）

JIMTOF（隔年開催）		METALEX	
2022年	114,158人	2023年	98,686人
2024年	129,018人	2024年	101,937人

出展社数（いずれも主催者発表）

JIMTOF（隔年開催）		METALEX	
2022年	1,086社	2023年	766社
2024年	1,262社	2024年	742社

展示スペースとして、2018年のMETALEXは、下記のようにBITECH全スペースが使用されておりました。



コロナ後の BITEC は、上図左の 3 ブロックがリニューアルされ他のイベント用となっております。METALEX に限らず展示会としてはこのスペースとなっております。

3ブロック分がリニューアルされ  
ライブ等のイベント用とアミューズメント施設になっている



右の展示会フロアの中に 700 社程度の展示ブースが展開されています。(その他エントランス通路にもいくつかのブースがありました) の

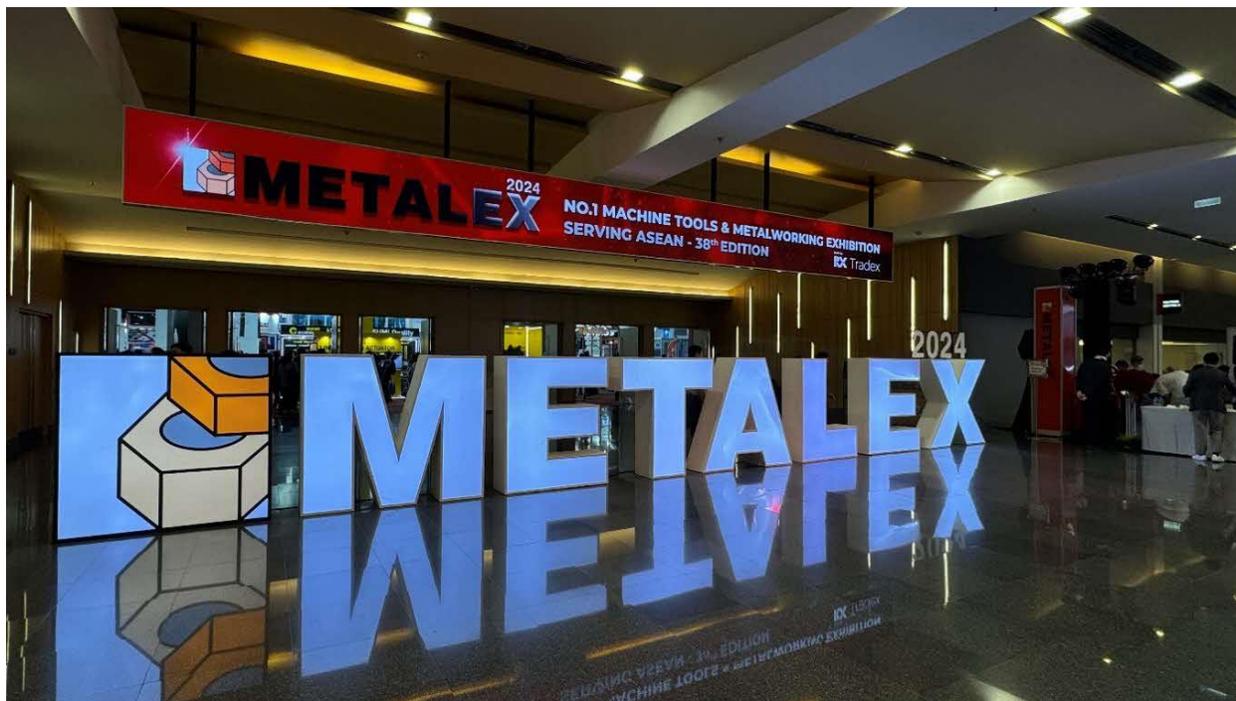


拡大すると以下です。青塗したのが日系企業及び日本製品を取り扱っているローカル商社のブースです。イメージ的には 30%強程度が日系と言って良いでしょう。METALEX は工作機械が主な展示物。従ってそれなりのスペースをとります。工作機械はやはり日本企業製。ということではスペース占有という観点で、日系が主となるのは至極当然のこととなります。その他は、ドイツ製、台湾製機械の展示が目立つものがありました。また日系機械商社として、「タイ山善」が最も広くスペースをとっておりました。



## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.122

入場者数は、例年と変わらず、活気があるように見えました。しかしながらコロナ前より展示面積が小さくなっており、その分密度が濃く見えている印象もありました。



## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.122

工作機械として中国企業製が影をひそめた感がありました。中国パビリオンはありましたが、付帯設備、工具など小物系の展示が目立ち、またそのエリアは閑散とした印象がありました。



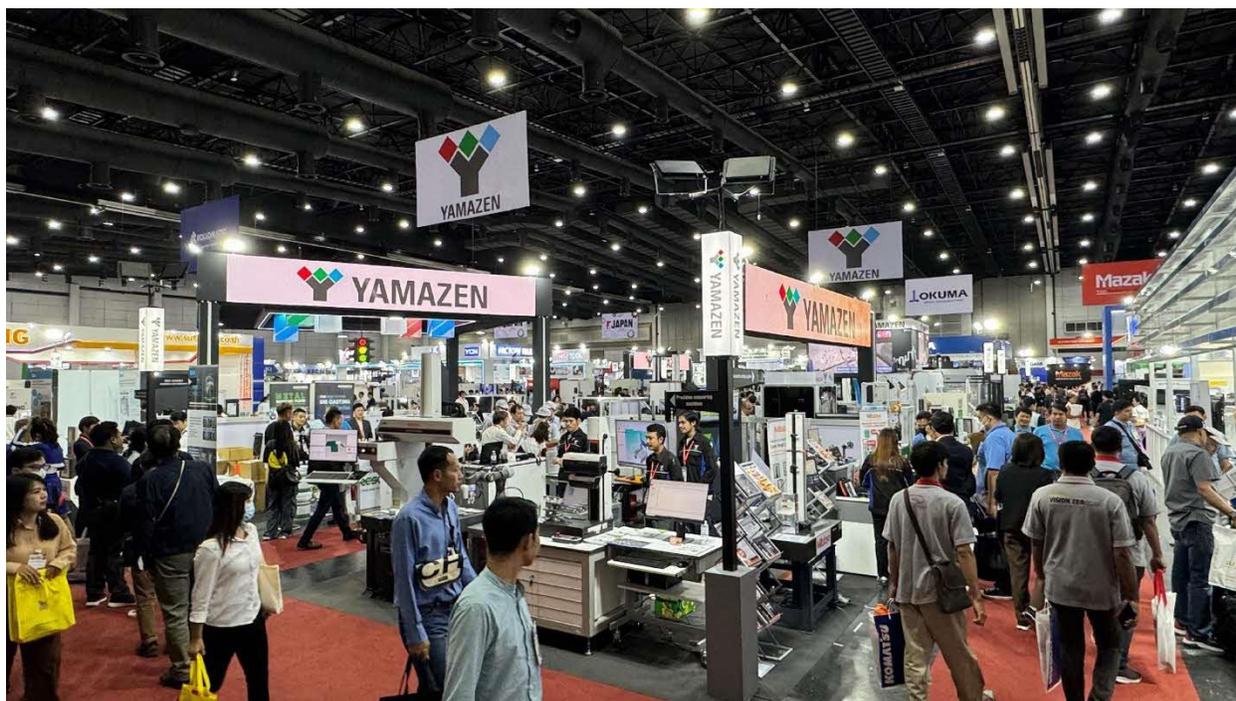
## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.122

一方で台湾ブースがかなり前面に出来ている印象もありました。



## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.122

日系工作機械・工具全般総合商社の「タイ山善」は、毎回規模も最大で、会場設定も凝っております。



## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.122

M & A でニデックになった工作機械（元三菱重工、OK K、TAKISAWA、PAMA(イタリア)）が中央入場口近くに出展されておりました。



## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.122

日本中小企業の JAPAN PAVILION として、ジェトロブースには 29 社が展示しておりました。

<https://www.jetro.go.jp/news/releases/2024/9437279bdfd48c4a.html>



# 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.122

東京都は10ブース



## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.122

茨城県は7ブース、長野県は4ブースみることができました。(いずれも筆者カウントによる)



## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.122

ドイツ最高級マシニングセンターメーカー「GROB」。航空機、メディカルに強く、昨今タイローカルメーカーが導入してきており、独自出展してきました。昨今実力あるローカルメーカーも出てきており、高精度マシンに対する目利きと購買力もかなり上がってきています。



## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.122

例年3日目後半には、かなり目立つ「SOLD」表示が少ない印象がありました。展示会の特長として、これまでの商談で、発注日を展示会開催期間に合わせることも一般的ですが、今年はそのステッカーが極めて少ない印象を覚えました。



30%引きのドイツ製機械

プレス板金の「アマダ」ブース。例年は、殆ど「SOLD」になりますが、見つけれませんでした。



全体的な印象として

- 製造工場集団国タイは健在。ものづくりインフラは、タイがアセアン。
- 付加価値のある製品製造をタイで進める企業も増加傾向のため、今回の展示会では工作機械の高級機種、日本のものづくりアイデア紹介が多く見られ、日本のブースに人が集まっていました。
- ここ数年間、中国企業の出展が目立ったが、大分少ない印象でありました。タイでは、中国企業製の品質、精度、アフターサービスに関する不信感も目立ってきています。
- 入場者として日系大手製造企業のタイ人グループが多く感じました。顔ぶれも中堅クラス（年齢的に40歳代以上）と見られます。ローカル人材が育てられている印象を覚え、「日系だから日本人」相手ではなく、タイ人スタッフへの営業が重要と感じました。

このような印象を覚えた2日間でした。

□ ■タイのクラフトビール■ □



こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、ナムターンです。

タイのクラフトビールは、ここ数年で大きな注目を集めています。現在、正規に製造・販売されているクラフトビールブランドは約 50 ブランド、100 以上のラベルがあり、全国各地で新しいブリューパブが次々とオープンしています。また、国内だけでなく世界中からクラフトビール約 1,000 種類が輸入されています。タイ国内で製造されたものと輸入されたクラフトビールを取り扱う小売店は、全国に 1,000 店舗以上あると推定されています。

しかし、タイ国内でのアルコール飲料の製造・販売に関する厳しい規制により、クラフトビール市場のシェアはわずか 0.5-1%、金額にして約 20 億バーツ（全体市場規模約 2,700 億バーツ）に留まっています。ここでは、現在バンコクで人気のブリューパブをいくつかご紹介します。

### 1. BREWAVE



Brewave は 100%タイ人によって設立された醸造所で、毎月 10,000 リットル以上のビールを販売しています。ビールの醸造所やライブミュージックとタイ料理を提供するビールバーの他、ビール醸造学校の運営もしています。一部の店舗は日中にカフェとしても営業しています。

最初の店舗はバンコク郊外のカンチャナピセーク通りにあり、クラフトビールは 1 杯 150 バーツからと手頃な価格で提供されています。醸造されるビールは果物のフレーバーを中心に、飲みやすい甘めの味わいが特徴で、タイならではの熱帯性フルーツや米の品種を活かした多様なビールを提供しています。また、輸入ビールも取り扱っており、様々な味わいを楽しむことができます。現在は 5 店舗まで拡大し、最新店舗は BTS チットロム駅近くのゲイソーン・アマリンにあり、「Work Hard Drink Harder」をコンセプトに展開しています。



BREWAVE's concept: "Work Hard Drink Harder"

出典：<https://www.facebook.com/BrewaveGaysorn>

## 2. BEER PRADITH



タイ全土のクラフトビールを楽しみたい方には、「ビール・プラディット（Beer Pradith）」がおすすめです。店名は英語の「Craft」をタイ語で「プラディット（発明・作る）」と訳したことに由来します。バンコク中心部の人気エリア、バンタートーン通りに位置し、24種類のタップを備えています。

ここではタイ各地の特産品を使用して醸造されたビールを取り揃えており、全国各地のビールを味わうことができます。例えば、ペッチャブーンの花みょうもビール、プラチュアップキーリーカのパイナップルビール、チャンタブリーのソムマピードビールなどがあります。



タイ東北部 イサーン地方の「NEIPA with Sabro Mosaic Cryo Pop and Coconut liquor」



タイの世界的に有名なデザート「カオニャオ・ナムアン」(マンゴーもち米)



ソムマピード・ミード - チャンタブリー県の名産フルーツである  
ソムマピード (カラマンシー) とはちみつを使用したミード酒

出典 : <https://www.facebook.com/beerpradith>

### 3. Taopiphop Bar Project



タイのアルコール製造・販売規制については、小規模事業者が事業を継続できるよう、改正と改善が必要とされています。タイのビール業界で、「トーピポップ・リムジットラコン下院議員」（市民党）を知らない人はいません。元弁護士で、ビール醸造に魅了された彼は、「私はビールが好きです」という言葉で知られ、政治家として進歩的な酒類政策を推進してきました。

未来前進黨時代から継続的に法改正の提案を行っており、彼が設立した「Taopiphop Bar Project」は、この取り組みの成果の一つとなっています。店舗では自家醸造ビールに加え、世界中から集めた缶ビールも提供しています。また、「誰もが平等に発言する権利を持つ」という考えのもと、「7 Minute Free Speech For Everyone」というイベントを開催し、意見交換の場を提供しています。



Minute Free Speech For Everyone イベント

出典 : <https://www.facebook.com/TaoBarproject>

#### 4. BrewDog



最後に、タイのクラフトビール人気を象徴する存在として、スコットランドの世界的ブランド BrewDog をご紹介します。代表作の「BREWD OG PUNK IPA」で知られる同社は、2014年7月にアジア初の正規店舗をバンコクのプルンチット地区にオープンしました。

16種類のビールを提供しており、そのうち14種類が BrewDog の自社製品、残り4種類がタイやアジアのビールです。店内では、ヨーロッパスタイルの料理を提供し、ゲームやライブミュージックも楽しめます。さらにペット同伴可能で、まさにヨーロッパスタイルのビアバーとなっています。



出典 : [https://drink.brewdog.com/eu\\_de/ploenchit](https://drink.brewdog.com/eu_de/ploenchit)

※別紙に、年内に開催予定のタイ・インドネシア・ベトナムの展示会情報をまとめました。

サポートオフィスでは、現地で開催される展示会へのアテンドも行っております。

関心のある展示会がございましたら、お気軽にご連絡ください

担当：柴田 隼介 Shunsuke Shibata

Address: 1 VASU1 Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25,

Sukhumvit Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110

▶ タイ経済指標

項目	単位	2021	2022	2023	2024
GDP 成長率	前年比ベ (%)	1.8	2.7	1.9	2.3 (9月)
人口*	千人	68,161	69,922	70,104	70,234 (9月)
労働者の数*	千人	38,631	40,143	40,674	40,067 (10月)
失業率**	%	1.94	1.32	0.98	1.03 (9月)
最低賃金* バンコク	バーツ/日	331	353	353	363
チョンブリー		336	354	354	361
アユタヤー		325	343	343	350
ラヨン		335	354	354	361
賃金：全国製造業の平均	バーツ	13,506	14,305	14,416	14,514 (9月)
インフレ率**	前年比ベ (%)	1.24	6.08	1.23	0.06 (1月)
中央銀行政策金利*	%	0.50	1.25	2.50	2.25 (10月)
普通貯金率**	%	0.25	0.28	0.40	0.40 (11月)
ローン金利 (MLR) **	%	5.42	5.50	6.83	7.15 (11月)
SET 指数*	1975年：100	1,657.62	1,668.66	1,415.85	1,427.54 (11月)
バーツ/100円**	バーツ	29.15	26.78	24.82	23.42 (11月)
バーツ/米ドル**	バーツ	31.98	35.06	34.80	35.39 (11月)
円/米ドル**	円	109.8	131.38	144.07	153.72 (11月)
車販売台数 (1月からの累計)	台数	736,716	856,057	702,921	475,777 (10月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,572	1,554	2,383	2,218 (9月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億バーツ	511.9	618.62	750.12	745.96 (9月)

\*期末、\*\*平均